## 安部日鍋エ業 コンクリート製品の管理に 「ンクリートを識別するAI開発

安部日鋼工業は、ウィ|25年の製品版リリース|証コードを刻印して利用|れの付着や経年による情 することから、バーコー|報の一部欠落がある状態

で、点検時 | リートが適用対象とな | 発、エクサウィザーズは

に必要な情 や有事の際

る。また、

サウィザーズとともに、

コンクリートの表面の一

AI認証システムとは、

コンクリート骨材配置 | ドやQRコードをシール | でも識別できるよう開発

一コンクリートの表面を数

| は難しいとされた、雨水 | 特徴を有する今回のシフ | などで貼り付ける方法で | を進めており、これらの

部を露出させた箇所に表

ル、NTT西日本、エク|を計画している。

に引き出す | は開発プロジェクトのマ | アルゴリズムの設計、開 ことができ | ネジメントおよび製造現

報を速やか一たっては、安部日鋼工業 システムの開発にあ

| 材料が織りなすパターン | 在、岐阜商工会議所と六

コンクリートを構成する

一に応募し7月に採択、現

おくこと

|とから、あらゆるコンク

|西日本はシステムの開

| 付けで取り付けられると | 実証・効果測定、NTT | 促進環境整備事業) 地域 | 設のコンクリートにも後 | のシステム活用における | 事業費補助金(地域DX

|デジタルイノベーション | 実証型」に係る補助事業

周

造情報や維|リートだけではなく、既|ウィルは維持管理業務で|小企業地域経済政策推進 構造物の製|新たに建設するコンク|おける実証・効果測定、 | に関しては、今年度の「

| を基に個体識別するAI | 郷恵哲・岐阜大学名誉教

発と検証を担当する。

| 授の監修の下で開発を

今回のシステムの開発

場でのシステムの活用に

コンクリー

トの壁面に

を刻印し、 認証コード

電子掲示板

水

の試作版アプリを製作し|期耐久性を有するとされ|証コードの読み取りにA|とができ、コンクリート|る仕様となっている。

今回のシステムは、長一今回のシステムでは、認

となる可能性があるが、

ーンストールすることで**、** 

| | レットに専用アプリをイ | を読み取ることで、あら | 記したマニュアルを呼び

操作方法を い方として のような使

| 誰でも簡単に利用するこ | 先に簡単にアクセスでき | て自由に設定することが

例えば、コンクリート

認証コードの刻印は、

| かじめ紐づけしたリンク | 出すなど、用途に合わせ

て試行検証を行い、20|るコンクリート自体に認|Iを導入することで、 汚|に刻印された認証コード|

トフォンやタブレット用

めており、今年度スマー一個体識別するシステム。

造物、二次製品など全般

証システム」の開発を

道を含むコンクリート構|報であることに着目した|どを利用する方法では、

技術で、これを顔認証や

|情報の一部が欠落するこ

期待される。

スマートフォンやタブ

行っている。 水道・下水 | ターンが、 唯一無二の情 | る。 また、 バーコードな | 持管理の場面での活用が

|成する材料が織り成すパ |続けることが期待でき | けではなく、将来的な維

認証コードとする「コン一示される、セメントや骨一響を受ける屋外環境下に一材の製造時や運搬・組立

示される骨材配置情報を一『元程度研磨することで表一や粉塵、紫外線などの影一テムは、コンクリート部

クリート骨材配置AI認 | 材などコンクリートを構 | おいても長期的に利用し | 時のトレーサビリティだ

を視野に入れて開発を進

| 指紋認証のようにAIで | とによって読み取り不可